

アサカミキリ *Thyestilla gebleri* (Faldermann)

【選定理由】

県内では 1951 年に東栄町御菌から記録されたものが唯一の生息情報となっている。戦後全国的に急速に減少した種であり、県内ではすでに 50 年以上生息情報が途絶えているため、絶滅と判定した。

【形態】

体長 10～15mm。ややずんぐりとした体型をしたやや厚みのあるカミキリムシ。黒色で、前胸背正中中部と両側および上翅会合部に白条がある。日本産は、韓国産と比較的似ており、上翅が灰白色の微毛に覆われ、白っぽく見える個体が多い。

【分布の概要】

【県内の分布】

東栄町御菌で採集された古い記録があるのみ。

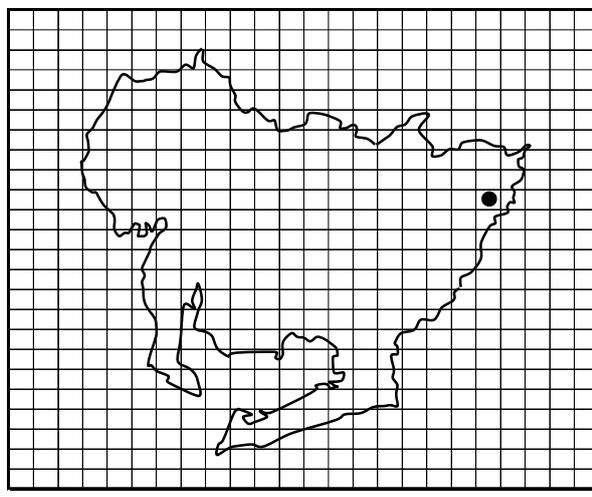
【国内の分布】

本州、四国、九州に分布。

【世界の分布】

朝鮮半島、沿海州、中国東北部にかけて広く分布する。

県内分布図



【生息地の環境／生態的特性】

山地の草原に生息する。成虫は 5～8 月に出現し、アサ、アザミ類の新芽を食べる。海外では、オオマツヨイグサも寄主植物として知られている。

【現在の生息状況／減少の要因】

戦前アサの害虫として知られた種であるが、戦後、麻薬取締法によりアサの栽培が制限されるのにともない全国的に急速に減少したといわれる。現在確実に生息している場所は全国でも数えるほどしかない。県内では 50 年にわたって生息情報が途絶えている。

【保全上の留意点】

日本では、アサの害虫として分布拡大し、アサの栽培の禁止とともに激減したと伝えられている。こうした背景から本種の保全は単純ではない。他県では、農薬などを使用しない自然草原、あるいは半自然的な草原が生息地となっており、開発行為に非常に弱いことが指摘されている。

【関連文献】

湯沢宣久・蟹江 昇・河路掛吾・竹内克豊, 1990. 愛知県のカミキリムシ科. 愛知県の昆虫, (上): 389-433. 愛知県.
竹内克豊・原田猪津夫・松野更一, 1980. 愛知県北設楽郡のカミキリムシ. 愛知県豊根村の動物: 231-285.

(長谷川道明・蟹江 昇・戸田尚希)